平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年２月１日

上 場 会 社 名　　株式会社ダイショー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2816　　URL http://www.daisho.co.jp
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松本　洋助
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員管理本部広報室長　(氏名) 堀脇　裕之　(TEL) 092-611-9340

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月８日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	13,516	―	1,407	―	1,418	―	902	―
24年３月期第３四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	93.48	―
24年３月期第３四半期	―	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	16,038	7,237	45.1
24年３月期	12,769	6,488	50.8

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　7,237百万円　24年３月期　6,488百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	8.00	―	8.00	16.00
25年３月期	―	8.00	―		
25年３月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	1.1	1,200	△5.4	1,200	△6.4	630	7.0	65.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	9,868,800株	24年３月期	9,868,800株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	215,885株	24年３月期	215,817株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	9,652,929株	24年３月期３Ｑ	9,653,026株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年３月期第３四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年３月期第３四半期の数値及び平成25年３月期第３四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．参考情報 …… 9
前第３四半期連結損益計算書 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しによる景気回復などにより緩やかな回復基調がみられたものの、長期化する欧州金融危機や新興国の経済成長の鈍化により、景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、先行き不透明感から雇用情勢・所得環境が厳しさを増すなか、消費者の生活防衛意識による節約志向や企業間競争の激化など取り巻く経営環境は厳しい状況下にあります。

このような状況の下、当社は、「既存チャネルの深耕による収益力強化」「更なる成長に向けた新規チャネルの開拓」を基本方針として掲げ、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

また、素材連動型製品の品揃えを拡充し、これら新製品の市場定着に向けたメニュー提案活動を継続するとともに、お客様のニーズに応じた営業活動の強化にも取り組みました。

更に、生産面では九州工場の鍋スープラインが平成24年12月より稼働し、より効率的で迅速な生産体制が整いました。

品目群別の概況は以下のとおりであります。

たれ類は、『秘伝焼肉のたれ』を中心にフライパンで簡単にできる汎用メニューの提案や肉と野菜をバランスよく食べる食べ方提案などによる需要喚起を図りました。また、業務用製品につきましては、新規取引先への販売強化やメニュー提案による取扱製品の拡大に努めましたが、売上高45億62百万円（前年同期比99.3%）となりました。

スープ類は、最需要期を迎え、製品の拡充を目指し、新製品『鶏南蛮鍋スープ』や『ひき肉でおいしい ごま味噌鍋スープ』を発売するとともに、定番製品のリニューアルを図り内食需要の高まりに応えました。また、購入を促進することを目的としたキャンペーンを実施する等、鍋スープ類の売上向上に努めたことにより、売上高40億41百万円（前年同期比107.4%）となりました。

粉末調味料類は、『味・塩こしょう 詰替用』などが好調に推移したことや、業務用製品で総菜向け製品の貢献もあり、売上高26億11百万円（前年同期比106.0%）となりました。

ソース類は、『ＣｏＣｏ壱番屋監修 野菜のカレー煮込みソース』や『トンテキの素』などメニュー専用調味料を中心に拡販に努めたことや業務用製品が好調に推移したことにより、売上高８億20百万円（前年同期比114.5%）となりました。

競争激化の影響により、ドレッシング類は、売上高１億89百万円（前年同期比85.0%）、青汁類は、売上高４億84百万円（前年同期比81.7%）、その他は、売上高６億16百万円（前年同期比80.9%）となり、仕入商品は、売上高１億90百万円（前年同期比106.1%）となりました。

以上の結果、当第３四半期累計期間における売上高は135億16百万円（前年同期比101.7%）となりました。利益につきましては、営業利益は14億７百万円（前年同期比98.1%）、経常利益は14億18百万円（前年同期比103.6%）、四半期純利益は９億２百万円（前年同期比122.0%）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第３四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ32億69百万円増加し、160億38百万円となりました。固定資産が総資産の59.0%を占め、流動資産は総資産の41.0%を占めております。主な資産の変動は、「建物及び構築物」が16億９百万円、「受取手形及び売掛金」が15億69百万円、「リース資産」が11億１百万円、「機械及び装置」が４億77百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が９億42百万円、「建設仮勘定」が９億17百万円それぞれ減少したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ25億20百万円増加し、88億１百万円となりました。流動負債が負債合計の63.0％を占め、固定負債は負債合計の37.0％を占めております。主な負債の変動は、「リース債務」が11億51百万円、「未払金」が９億84百万円、「短期借入金」が５億円、「買掛金」が３億46百万円それぞれ増加し、「長期借入金」が３億45百万円、「賞与引当金」が１億74百万円それぞれ減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ７億49百万円増加し、72億37百万円となりました。主な純資産の変動は、配当１億54百万円の支出と四半期純利益９億２百万円の計上により「利益剰余金」が７億47百万円増加したことによります。自己資本比率は、九州工場建設に伴う負債が増加したこと等により45.1％となり、前事業年度末に比べ5.7％下降しました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期決算短信（平成24年５月10日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321	1,378
受取手形及び売掛金	2,338	3,907
商品及び製品	453	620
原材料	275	293
その他	366	449
貸倒引当金	△77	△77
流動資産合計	5,677	6,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,628	3,238
土地	2,687	2,763
リース資産（純額）	356	1,458
その他（純額）	1,552	1,134
有形固定資産合計	6,225	8,594
無形固定資産	27	21
投資その他の資産		
投資その他の資産	840	852
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	838	849
固定資産合計	7,091	9,466
資産合計	12,769	16,038

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,410	1,756
短期借入金	460	960
未払金	942	1,926
未払法人税等	242	268
賞与引当金	350	176
役員賞与引当金	18	14
その他	353	444
流動負債合計	3,777	5,547
固定負債		
長期借入金	1,365	1,020
退職給付引当金	381	411
役員退職慰労引当金	461	500
その他	294	1,322
固定負債合計	2,503	3,254
負債合計	6,281	8,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	5,343	6,091
自己株式	△114	△114
株主資本合計	6,479	7,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	9
評価・換算差額等合計	8	9
純資産合計	6,488	7,237
負債純資産合計	12,769	16,038

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：百万円）

	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	13,516
売上原価	6,922
売上総利益	6,594
販売費及び一般管理費	5,186
営業利益	1,407
営業外収益	36
営業外費用	25
経常利益	1,418
特別損失	0
税引前四半期純利益	1,418
法人税、住民税及び事業税	516
四半期純利益	902

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

４．参考情報

前第３四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	13,365
売上原価	6,878
売上総利益	6,486
販売費及び一般管理費	5,069
営業利益	1,416
営業外収益	32
営業外費用	26
経常利益	1,423
特別損失	82
税金等調整前四半期純利益	1,340
法人税、住民税及び事業税	601
少数株主損益調整前四半期純利益	739
四半期純利益	739